

## 要 旨

### 試験委託者

環境庁

### 表 題

*p*-クロロトルエンのヒメダカ (*Oryzias latipes*) に対する急性毒性試験

### 試験番号

9 B 5 1 0 G

### 試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 203「魚類毒性試験」(1992年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： *p*-クロロトルエン
- 2) 暴露方式： 半止水式(24時間毎に試験液の全量を交換)，水面をテフロンシートで被覆
- 3) 供試生物： ヒメダカ (*Oryzias latipes*)
- 4) 暴露期間： 96時間
- 5) 試験濃度(設定値)：対照区，助剤対照区，1.00，2.00，4.00，8.00，16.0mg/L  
公比；2.0，最大助剤濃度；96.0 mg/L(メチルセルロース，HC0-40使用)
- 6) 試験液量： 5.0L／容器
- 7) 連数： 1 容器／濃度区
- 8) 供試生物数： 10尾／濃度区
- 9) 試験温度： 24±1℃
- 10) 照明： 室内光，16時間明／8時間暗
- 11) 分析法： HPLC法

### 結 果

- 1) 試験液中の被験物質濃度：試験区において設定濃度に対して±20%を超える分析結果がなかったため，以下の値は測定濃度の幾何平均値を基に示した。
- 2) 96時間の半数致死濃度(LC50)：6.14 mg/L(95%信頼区間：4.07mg/L～10.5mg/L)